

# 下町河川 Tomorrow

東京都の江東内部河川流域連絡会の情報紙（会議録）

平成30年3月5日（月）

## 第62回（第9期第6回）江東内部河川流域連絡会を開催



会議の様子

- ・「第62回（第9期第6回）江東内部河川流域連絡会」を、午後2時00分から午後4時30分の約2時間半、東京都江東治水事務所 水門管理センター 5階 会議室にて開催しました。
- ・都民委員15名、行政委員12名が参加しました。
- ・水門管理センターの紹介と監視操作室の視察、「かわてらす」の視察、行政・都民委員からの情報提供が行われ、その後意見交換を行いました。

## 議題及び情報提供

### 1. 視察（水門管理センター）

- ・水門管理センターについて、DVDによる紹介映像とスライドによる補足説明を行いました。
- ・水門管理センター内の監視操作室にて、水門開閉操作の実際を見学していただきました。



### 2. 視察（かわてらす LYURO 東京清澄）

- ・東京都が推進している「かわてらす」を見学していただくとともに、東京都の担当者から施設の説明を行いました。
- ・「かわてらす」は、社会実験としてスタートしましたが、この実験を踏まえ、実験でない施設を増やしていきたいと考えています。



### 3. 委員からの情報提供

#### (1) 平成30年度ふれあいボート教室

- ・ふれあいボート教室は、初めての方でも水面に出て漕いで川面からの風景を見て、できれば水辺環境の方にも気を向けて欲しいということで、長年実施しております。
- ・ジュニア・ローイング講座は、ボートという水上スポーツを通して地域で子育てをしようという主旨で続けております。

**平成30年度 小・中学生のための ふれあいボート教室**

●日時：平成30年（4月～10月の第一土曜日）  
4/7、5/5、6/2、7/7、8/4、9/1、10/6  
乗船開始 10:00（受付時間：9:00～13:00）

●会場：旧中川 小堀川一丁目「もみじ大橋」船着場

●申込：4月～10月 毎月第一土曜日（但し雨天中止）  
申込先：旧中川一丁目「もみじ大橋」船着場

●申込：江戸区ボート協会事務局 鈴木 TEL/FAX 03(3681)4808

#### (2) 江東区カヌー協会報

- ・2月4日に開催しました江東区カヌーマラソン大会の結果報告を掲載しています。
- ・北十間川の小原橋の工事箇所が難所となっておりましたが、関係機関のご協力を得て、うまく通れるように工夫していただきましたので、無事に終わることができました。

**江東区カヌー協会報**

第3回江東区カヌーマラソン2018 開催!!

江東区カヌー協会が主催する、北十間川10kmコースで開催された。山崎一都長会の旗色で、一発スタート!

江東区長杯カヌー選手権は、激戦りだった。優勝は、江東区カヌー協会。2位は、江東区カヌー協会。3位は、江東区カヌー協会。

順位	選手名	所属	タイム
1位	山崎一都	江東区カヌー協会	1:00:00
2位	山崎一都	江東区カヌー協会	1:00:00
3位	山崎一都	江東区カヌー協会	1:00:00

#### (3) お江戸深川さくらまつり

- ・3月24日から4月11日の土日と、和船は毎水曜日に船を出します。
- ・チラシには地図を載せて、陸から水辺から、この地域を楽しめるように色々な説明等を加えました。
- ・動力船や和船等色々な船に参加していただいております、また、ライトアップで夜も素晴らしいと思っております。
- ・今年は4月1日だけ、花嫁船が2艘出ます。

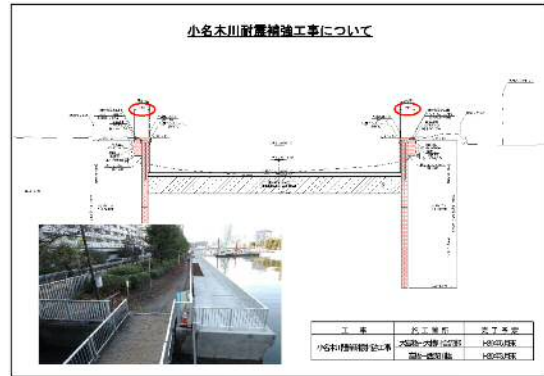
**お江戸深川 さくらまつり**

3月24日（土）～4月11日（土）まで

お江戸深川さくらまつりでは、和船や動力船など様々な船に参加していただけます。また、ライトアップで夜も素晴らしいと思っております。

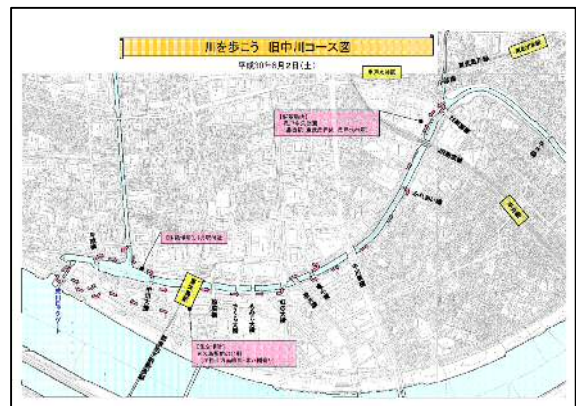
(4) 小名木川耐震補強工事について

- ・江東治水事務所では、小名木川の護岸耐震補強工事として、小名木川で2件、仙台堀川でも耐震護岸工事を行っています。
- ・小名木川では大富橋から大横川合流部間を3年かけて工事を行ってきましたが今年の6月末に完了予定です。
- ・高橋から西深川橋間は、今月末には工事を終える予定です。
- ・工事前の散策路は2m位でしたが、工事完了後4.5m位に広がります。
- ・工事のため移設していた高橋の防災船着き場は、3月14日に元に位置に戻ります。



(5) 旧中川を歩こう

- ・7月は河川愛護月間となっていて、各河川で、色々なイベントを行います。
- ・江東治水事務所では旧中川を歩こうというイベントを行います。今年は6月2日に開催します。
- ・5月1日の3区の区報と東京都広報に掲載して参加者100名を募集します。



【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆扇橋閘門の工事が終わった時、中川の船番所から隅田川まで、徒歩で通れるか。
- ◇これはまだ分かりません。できれば通したいと思っていますのですが、まだ調整等が必要です。
- ◆閘門のところさえうまくアレンジしていただければ、通れると思っています。
- ◇それは今後調整していきたいと思います。
- ◆先日イベントで、移動した高橋の船着き場で船を発着させた折、新小名木川水門がすごくきれいに見えた。あれはすごく素敵だと思った。

(6) 旧中川ボートフェスティバル 2018

- ・水上スポーツを楽しもうということで、平成15年から始めて今年第16回となります。4月15日午前10時～午後3時まで、旧中川の東大島から中川新橋付近で開催します。
- ・江戸川区ボート協会等によるボート体験、江戸川カヌークラブによるカヌーの体験、江戸川区によるEボート体験、東京龍舟によるドラゴンボートレース大会等を行います。



## 【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

◆Eボートとはどういうものか。

◇10名位乗れるゴムボートで、資料右下に写真があります。

◆Eの語源は何か。

◇調べておきます。

※Eボートの「E」は、「Everybody」誰でも、「Easy」簡単に、「Enjoy」楽しめる、の頭文字を取っている。

## (7) 旧中川沿いは亀戸景観重点地区

- ・旧中川沿いの区域の亀戸景観重点地区に資料写真にあるところが指定されています。
- ・毎年アジサイ祭りを行っていて、今年も6月9日第2土曜日に実施する予定です。今年で第6回になります。
- ・江東新橋からふれあい橋まで街灯が22基3月中に設置されます。防犯上も良いですが、夜間でもアジサイが見られるようになります。
- ・ふれあい橋ライトアップにはクリスマスバージョンがありますが、オリンピックには5色になると期待しています。
- ・灯籠流しは、ちょうど今年が20周年です。8月15日に第20回目の灯籠流しを行う予定です。



## 【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

◆4月1日日曜日10時からに小松川大島公園で千本桜祭りというイベントが開かれます。

◆旧中川の亀戸側でアジサイを植えて管理をされているが、江戸川区側も、今月、アジサイを土手に植えることになった。

◇江東区側で非常にきれいにアジサイが咲いている中で江戸川区側が寂しいという状況がありましたので、ほぼ同数位のアジサイを植えることにしました。

◆そのうち江東区側と江戸川区側で合同のアジサイ祭りを行いましょ。

## (8) 水門カード (全22施設)

- ・水門・排水機場21施設と水門管理センターを加えた22施設が全て完成しましたので、これらの情報をカードにした水門カードを配布しました。河川情報や沿線情報が書かれています。

## 4. ご意見・感想等

◆都民委員 ◇行政委員

◆猿江恩賜公園付近の大横川護岸整備で、親水機能を持った施設の整備は、水深等の理由で難しいという話があったが、小名浜水族館には水深のある海際に親水施設がある。親水施

設があっても良いのではないか。

- ◆また、見栄えがする花、名所になるようなものを植えたら良いのではないかという意見があったが、元々地元で生えていた雑草のようなものでも良いと思う。
- ◆猿江恩賜公園の中にはジャブジャブ池があり、夏場は子どもたちがエビガニを取っている。ハス池もあり水仙と菜の花と桜がある。わざわざ川に近いところに危険な施設を設ける必要はない。
- ◇大横川は、江戸時代に造られたお堀を河川として整備、管理しています。お堀であったため、断面が四角く岸边は切り立った形状です。水深が徐々に深くなる自然河川に近いのは唯一旧中川だけです。元々お堀だったところは、親水施設を川沿いに造ることが難しくなっています。
- ◆新川の水質がもう少しきれいにならないか、と思っている。そのような計画は無いのか。ゴミ清掃は、月6回私どもで行っている。
- ◇新川は、本来東から西へ抜ける川でしたが、現状、東側から入って来る水を西側の排水機場から中川の方にポンプで吐くような形になっています。
- ◇排水機場にもゴミを取る設備があり、ゴミの回収をしています。
- ◆江戸川区さんで新しくルールを設、その中に「徐行」という項目と「救命胴衣の着用」という項目があると思う。「徐行」と「安全な速力」とは同じようで違うので、そういう違いも添え書きといった形で対処していただきたい。
- ◆救命胴衣に関しては、着たか着ていないかという話になりがちだが、正しく、体型にあったものを、その時の条件に合ったものを着用するということが大事なので配慮いただきたい。
- ◇事故があったため、旧中川沿いの何か所かに看板を設置し、船舶は原則右側通行だということを改めて掲示しました。併せて体形に合ったライフジャケットの着用、停泊・係留はできないこと等も掲示しています。見ていただくために情報は絞っており、原則は右側通行を一番大きく掲示しています。
- ◆右側通行に関しても、右側通行に囚われると場所により危険なケースあるので、適切な啓蒙が必要だ。

## 5. 第9期の感想

◆都民委員 ◇行政委員

- ・江東内部河川における、いずれの活動も息長く必要なものが多いと感じた。活動の場としてきた旧中川は長い期間をかけ、きれいに整備されたが、健全に使うということが益々大事になっていると思う。水質の事、環境の事、より地域住民に役立つ活動として、このまま活動を続けていきたいと思っている。
- ・和船を始めたのは町おこしが目的である。和船は町おこしの目玉となり得ると思っている。目黒川や柴又でも町おこしに関わってきた。江東区も墨田区もポテンシャルはすごくあると思っている。内部河川をにぎやかにしたいと思っている。
- ・子供の頃の旧中川には魚がいっぱいた。その後化学工場の廃液などで、水の色が茶色や青色等になった時期があったが、今は、皆さんが一生懸命に環境を良くして舟遊びができるきれいな川になっている。素晴らしいと思っている。これから益々、旧中川とか河川を

- 良くしていただければと思っており、住みよい砂町、大島、亀戸なんてことになればと思っている。
- ・江東区でアジサイが素敵だから、江戸川区でもアジサイを植えて両岸が一体化したという話は、この会議もその役割の一端を担ったのではないかと思った。そういうことを、もっと地域に知らせていただけたら良いと思う。
  - ・扇橋閘門の工事が完成する時、パンフレット等を作るならば、子供でも分かるようなものとしていただきたい。ゼロメートル地帯という言葉が子どもたちが分からなくなっていると感じている。大人も自分たちが住んでいる場所が水面より低い場所であることを分かっていない。そんな中、水門管理センターが 24 時間戦っていることを知って、これを地域の人に何とか知らせなければならないと思った。このような思いを次の機会の提案に繋げたいと思っている。
  - ・旧中川の江東区側の土手には、時期が来るとアジサイがいっぱい咲き乱れているが、江戸川区側も植えることになった。江東区側は、管理は自分たちでやってくれと言われたそうだが、江戸川区はボランティアを募集して行うということなので、協力したいと思っている。
  - ・あっという間に 2 年が過ぎた。提案させていただいたことが実現されるかどうかを楽しみにしている。旧中川が親水河川として立派になっていく姿は、行政の努力と近隣の住民の意見によると思っている。提案だが、木下川排水機場は、江戸時代末期頃、梅屋敷があった場所なので、工事の完成に合わせて局舎の周りの植栽を全て梅にして欲しい。排水機場内に梅を咲かせて頂ければ、おのずとにぎわいが出ると思っている。東京都は、景観にも力を入れ始めているが、是非これは続けて欲しい。
  - ・この 2 年間で地域の方が大変活躍していることを良く教えていただき良い勉強になったと感謝している。都民委員に応募したのは、子どもの頃遊んだ故郷の川が、きれいな水は流れているが、人と隔絶された状況となっていたことを考えてのことだ。技術に、デザインや新しい知恵、発想の転換等で東京都や関係区の人、技術者が大活躍する様子を是非見たいと思っている。また、チラシ位は年寄りにも見えるように工夫していただきたい。
  - ・7 期から 6 年間参加してきたが 70 歳になり、そろそろかと思っている。色々なお話を聞いていて、水彩カフェテラスだとか河川公園の有効利用の提案だとか、こういう発想の良い人は素晴らしいと感心していた。川に親しむ人が増えてきているので、関連する団体委員の皆様方のご苦労は大変なものだと思っている。
  - ・自慢は、ここで発表させていただいた卒業研究の内容が東京都公園協会の都市公園に掲載されたこと。大学院に進学し引き続き水辺に関わる研究を続けているので、ここで何う話は非常に勉強になる。東京よりも地方では川は重要な資源なので、もっと活用しているように見える。もう少し勉強をして、何か提案を出したいと思っている。
  - ・ここに参加する最初の目的は、耐震補強に続く住まいのマンションの課題である水害対策を盛り込んだ長期営繕計画を作成するための情報収集であった。自分たちが住んでいるところが -2m のところであることを知らない人もかなり多くいる中、流域連絡会で得た情報を話しながら、今後の水害対策と被災時の飲料水確保を考えている。ここでの行政の仕事に合わせて自分たちに何をできるのかを、今、話し合っているので、これからも私どもにとって有効な河川管理をお願いしたい。こちらの情報を貴重な資料と考えている。
  - ・官民共同で、色々な事業を行っていく機会が増えている中、色々な人が集って意見交換で

きる場は非常に貴重で、ありがたいと思っている。貴重な場なので、これをもっと生かせるような工夫や取り組みをお願いしたい。例えば、皆さんと自由に話せるような懇親会のような場があればと思う。また、川を知らない人とか川を避けている人等、色々な属性の方が参加でき、専門機関や国や都等、普段別々に活動しているところが一体化して、そういう人たちも入れる場になったらよい。新しい情報は、こういう場を通して伝わっていくと良い。

- ・私は、提案はできなかったが今日の見学も含めて、色々な施設を見せて頂くことや会議とおし、川や海の事が良く分かった。私たちの生活の場であるこの町の危険を理解し最大限に利用するために、水に親しんでいくということが一番大事だと感じた。
- ・この会に初めて参加した。生まれ育った町の色々なことに興味を感じていたが、ここは河川が縦横に走っている特異な地区なのでこの会に参加した。掘を由来とする河川と自然河川があり、それぞれ活用の仕方を考えるという考え方で東京都が取り組んでいることを知り、来年この会に参加できるのであれば、そうした考えで区民にもう少し親しみの持てる河川にするための方法を考えてみたい。
- ・今まで気にすることがなかった、「江東内部河川流域の治水管理状況」についての理解が進んだ。治水管理に携わる方々の日頃のご努力に感謝する。今後できれば江東内部河川を「地域振興・観光」にどう生かすかという視点での意見交換がされたらと思う。
- ・今まで気にすることがなかった「江東内部河川流域の治水管理状況」についての理解が進んだ。治水管理に携わる方々の日頃の努力に感謝している。今後できれば江東内部河川を「地域振興・観光」にどう生かすかという視点での意見交換もされたら如何か。
- ・9期都民委員として2年間、江東内部河川流域連絡会には、自身の向上を計れば、と思い参加させて頂いた。身近に聞いた事を指針として、これから実践していきたいと思っている。

## 流域連絡会の今後の予定

今回をもって、第9期の連絡会は終了しましたが、引き続きこの江東内部河川の流域連絡会を第10回以降も続けてまいりたいと思っています。

